【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公開番号】特開2014-168727(P2014-168727A)
【公開日】平成26年9月18日(2014.9.18)
【年通号数】公開・登録公報2014-050
【出願番号】特願2013-40443(P2013-40443)
【国際特許分類】
*Ｂ０１Ｄ　53/18　(2006.01)*
*Ｂ０１Ｄ　53/38　(2006.01)*
*Ｂ０１Ｄ　53/77　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ　53/18　ＺＡＢＥ
Ｂ０１Ｄ　53/34　１１６Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年11月27日(2015.11.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも、臭気成分を吸着したナノミストとガスを導入するナノミスト導入口及び回収水供給部を介して前記ナノミストを回収するための回収水を導入する回収水導入口を有し、前記ナノミスト導入口から導入される前記ナノミストと前記回収水導入口から導入される前記回収水とを接触及び混合させるナノミスト－回収水接触部と、
前記ナノミスト－回収水接触部からのミストをサイクロンで回収する回収部と、を備える、ことを特徴とする、ナノミスト回収装置。
【請求項２】
前記臭気成分を吸着する前のナノミスト及び前記回収水はｐＨ５．８以上ｐＨ８．６以下であることを特徴とする、請求項１に記載のナノミスト回収装置。
【請求項３】
前記ナノミスト回収装置は、さらに、前記ナノミスト回収装置から放出される排水のｐＨを測定するセンサを備え、
前記回収水供給部は、さらに、前記センサによるｐＨ測定値に基づいて前記回収水の供給量を調節する回収水供給量調節機を備える、
ことを特徴とする、請求項１又は２に記載のナノミスト回収装置。
【請求項４】
臭気成分を吸着したナノミストの回収方法であって、
少なくとも、臭気成分を吸着したナノミストとガスを導入するステップと、
前記ナノミストを回収するための回収水を導入するステップと、
前記ナノミストと前記回収水とを接触及び混合させる接触混合ステップと、
前記接触混合ステップを経たミストをサイクロンで回収する回収ステップと、を含む、ことを特徴とする、ナノミスト回収方法。
【請求項５】
臭気成分を吸着する前のナノミスト及び前記回収水はｐＨ５．８以上ｐＨ８．６以下であることを特徴とする、請求項４に記載のナノミスト回収方法。

【請求項６】
前記回収ステップ後の排水のｐＨを測定する測定ステップを更に含み、
前記測定ステップによるｐＨ測定値に基づいて前記回収水の導入量を調節する回収水供給量調節ステップを更に含む、
ことを特徴とする、請求項４又は５に記載のナノミスト回収方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、本発明に係るナノミスト回収装置においては、前記ナノミスト回収装置は、さらに、前記ナノミスト回収装置から放出される排水のｐＨを測定するセンサを備え、前記回収水供給部は、さらに、前記センサによるｐＨ測定値に基づいて前記回収水の供給量を調節する回収水供給量調節機を備えることが好ましい。このような構成とすることで、ナノミスト回収装置から放出される排水のｐＨが適正値となるように制御することが可能になる。